

□詳細スケジュール (Detailed schedule)

時間	A 会場			B 会場			C 会場		
2020年12月2日(水) Wednesday December 2 nd , 2020									
9:40~ 9:50	開会の挨拶・会長挨拶 Opening Speech/Speech by President of JAEE								
9:50~ 10:20	基調講演：海洋研究開発機構 海域地震火山部門 小平 秀一 部門長 Keynote lecture : Dr. Shuichi KODAIRA, JAMSTEC 「南海トラフ地震に備える - 情報創生、活用、発信に向けて -」								
10:30~ 12:00	A-1	座長	藤井 賢志	B-1	座長	関口 徹	C-1	座長	沼田 宗純
	A-1-1	T2020-091	Alex Shegay	B-1-1	T2020-076	先名 重樹	C-1-1	T2020-037	小山 真紀
	A-1-2	T2020-074	田附 遼太	B-1-2	T2020-006	小木曾 仁	C-1-2	T2020-042	岩崎 祥太郎
	A-1-3	T2020-057	八木 尚太郎	B-1-3	T2020-089	中山 智貴	C-1-3	T2020-016	倉田 和己
	A-1-4	T2020-090	巽 信彦	B-1-4	T2020-051	西村 武	C-1-4	T2020-053	肥田 剛典
	A-1-5	T2020-064	原 甲己						
13:00~ 13:30	招待講演：東京大学 地震研究所 楠 浩一 教授 Invited lecture : Prof. Koichi KUSUNOKI, ERI, University of Tokyo 「非構造部材を有する3階建て鉄筋コンクリート建造物の災害時機能を検証するためのE-ディフェンス実験」								
13:30~ 15:30	A-2	座長	西村 康志郎	B-2	座長	引間 和人	C-2	座長	倉田 和己
	A-2-1	T2020-071	穴水 亮輔	B-2-1	T2020-081	岩城 麻子	C-2-1	T2020-027	中村 洋光
	A-2-2	T2020-022	米澤 健次	B-2-2	T2020-048	笠松 健太郎	C-2-2	T2020-067	山本 奏音
	A-2-3	T2020-007	中村 尚弘	B-2-3	T2020-004	植竹 富一	C-2-3	T2020-056	山崎 雅人
	A-2-4	T2020-049	大村 早紀	B-2-4	T2020-047	川瀬 博	C-2-4	T2020-035	沼田 宗純
	A-2-5	T2020-008	安井 讓	B-2-5	T2020-025	長嶋 史明	C-2-5	T2020-068	森崎 裕磨
	A-2-6	T2020-041	水川 裕貴	B-2-6	T2020-059	伊藤 恵理	C-2-6	T2020-063	水井 良暢
	A-2-7	T2020-032	戸澤 謙弥						
	A-2-8	T2020-083	谷 幸弥						
15:40~ 17:40	A-3	座長	中村 尚弘	B-3	座長	長嶋 史明	C-3	座長	中村 洋光
	A-3-1	T2020-039	石原 直	B-3-1	T2020-075	安田 進	C-3-1	T2020-062	藤井 涼
	A-3-2	T2020-017	柳田 佳伸	B-3-2	T2020-066	加村 晃良	C-3-2	T2020-050	安井 あり紗
	A-3-3	T2020-014	毎田 悠承	B-3-3	T2020-040	加藤 一紀	C-3-3	T2020-012	今井 隆太
	A-3-4	T2020-010	毎田 悠承	B-3-4	T2020-045	河井 亮太	C-3-4	T2020-082	筋野 哲央
	A-3-5	T2020-029	島崎 喬子	B-3-5	T2020-038	原田 健二	C-3-5	T2020-087	永作 俊
	A-3-6	T2020-005	中馬 拓美	B-3-6	T2020-060	日下部 亮太			
	A-3-7	T2020-015	増田 卓実						
	A-3-8	T2020-002	中川 肇						

2020年12月3日(木) Thursday December 3 rd , 2020									
10:00~ 12:00	A-4	座長	毎田 悠承	B-4	座長	岩城 麻子	C-4	座長	藤田 航平
	A-4-1	T2020-020	南部 恭広	B-4-1	T2020-030	野口 周輔	C-4-1	T2020-094	Amani GUIZANI
	A-4-2	T2020-019	向井 洋一	B-4-2	T2020-028	引間 和人	C-4-2	T2020-095	Nazish Ullah
	A-4-3	T2020-018	林 康裕	B-4-3	T2020-046	倉田 悠暉	C-4-3	T2020-065	Bidhya SUBEDI
	A-4-4	T2020-033	山田 耕司	B-4-4	T2020-052	佐藤 拓也	C-4-4	T2020-079	Mona Izadi
	A-4-5	T2020-086	高草 眞奈美	B-4-5	T2020-055	松岡 恭平	C-4-5	T2020-031	Yadab P. DHAKAL
	A-4-6	T2020-024	杉野 未奈	B-4-6	T2020-044	桐山 拓斗			
	A-4-7	T2020-061	鹿嶋 俊英	B-4-7	T2020-001	藤堂 正喜			
13:00~ 15:00	A-5	座長	小野 祐輔	B-5	座長	津野 靖士	C-5	座長	小檜山 雅之
	A-5-1	T2020-009	清宮 理	B-5-1	T2020-072	石井 洋輔	C-5-1	T2020-088	CHEN ZHENGLI
	A-5-2	T2020-092	藤田 航平	B-5-2	T2020-026	山中 浩明	C-5-2	T2020-073	TAN Yuqing
	A-5-3	T2020-085	山田 岳峰	B-5-3	T2020-021	小寺 祐貴	C-5-3	T2020-011	Bin WANG
	A-5-4	T2020-013	本多 弘明	B-5-4	T2020-093	是永 将宏	C-5-4	T2020-078	Jing LI
	A-5-5	T2020-096	中川 博人	B-5-5	T2020-003	翠川 三郎	C-5-5	T2020-077	Ahmed A. TORKY
	A-5-6	T2020-058	太田 雅也	B-5-6	T2020-034	松本 浩幸			
	A-5-7	T2020-023	犬飼 瑞郎						
15:10~ 16:00	特別企画・招待講演 Special event - Invited lecture : Prof. Ayşegül ASKAN GÜNDOĞAN, Middle East Technical University, Ankara "The report on the 2020 Elazig and Izmir (Turkey) earthquakes including seismological aspect, damage investigation, and social issues"								
16:10~ 17:20	表彰式・記念講演 Award ceremony / Memorial lecture								
17:20~ 17:30	閉会式 Closing ceremony								

□ **基調講演・招待講演 (Keynote and Invited lectures)**

- ・ 基調講演 (Keynote lecture) 2020年12月2日(水) 9:50～10:20
Wednesday December 2nd, 2020 9:50～10:20
海洋研究開発機構 海域地震火山部門 小平 秀一 部門長
Dr. Shuichi KODAIRA, JAMSTEC
「南海トラフ地震に備える － 情報創生、活用、発信に向けて －」

- ・ 招待講演 (Invited lecture) 2020年12月2日(水) 13:00～13:30
Wednesday December 2nd, 2020 13:00～13:30
東京大学 地震研究所 楠 浩一 教授
Prof. Koichi KUSUNOKI, ERI, University of Tokyo
「非構造部材を有する3階建て鉄筋コンクリート造建物の災害時機能を検証するためのE-ディフェンス実験」

- ・ 特別企画・招待講演 (Invited lecture) 2020年12月3日(木) 15:10～16:00
Thursday December 3rd, 2020 15:10～16:00
Prof. Ayşegül ASKAN GÜNDOĞAN,
Middle East Technical University, Ankara
"The report on the 2020 Elazig and Izmir (Turkey) earthquakes including
seismological aspect, damage investigation, and social issues"

□一般講演 (General presentations)

各発表の持ち時間：15分（発表時間12分＋質疑3分）

Each presentation: 15min (Presentation 12min + Discussion 3min)

◎：優秀発表賞対象者 Candidate for Excellent Presentation Award

A-1 12月2日(水) 10:30～12:00 座長：藤井 賢志 Chair : Kenji FUJII

実大 RC 造架構実験 Real-size RC structure experiment

番号	題目	発表者
A-1-1	非構造部材を有する実大 RC 造架構の静的載荷実験 ： その1 実験の概要と構造部材の挙動	Alex Shegay (東北大学大学院 工学研究科)
A-1-2	非構造部材を有する実大 RC 造架構の静的載荷実験 －その2 タイル仕上げの損傷－	◎ 田附 遼太 (株式会社長谷工コーポレーション 技術研究所)
A-1-3	非構造部材を有する実大 RC 造架構の静的載荷実験 その3 LGS 壁と鋼製ドアの損傷	八木 尚太郎 (東京大学大学院 ◎ 新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻)
A-1-4	非構造部材を有する実大 RC 造架構の静的載荷実験 －その4 LGS 壁と鋼製ドアの挙動－	◎ 巽 信彦 (東京工業大学科学技術創成研究院)
A-1-5	非構造部材を有する実大 RC 造架構の静的載荷実験 その5 加速度センサを用いた計測結果	◎ 原 甲己 (東京工業大学大学院)

A-2 12月2日(水) 13:30～15:30 座長：西村 康志郎 Chair : Koshiro NISHIMURA

建物応答・建物被害 Buliding response - Building damage

番号	題目	発表者
A-2-1	ねじれ2次モードのQ-Δ共振の検証実験と有限要素モデルによる再現解析	◎ 穴水 亮輔 (慶應義塾大学大学院 理工学研究科 小檜山研究室)
A-2-2	実大 RC 造3層建物の振動台実験に対する有限要素解析	米澤 健次 (株式会社 大林組 技術研究所 構造技術研究部)
A-2-3	構造物の応答性状に及ぼす初期減衰モデルの影響	中村 尚弘 (広島大学 大学院先進理工系科学研究科 建築学専攻)
A-2-4	柔な水平構面で連結された2階建て鉛直2構面モデルの線形応答解析	◎ 大村 早紀 (建築研究所 構造研究グループ)
A-2-5	震動台の回転の影響を受けた鉄骨造制振建物の層剛性と層減衰の同定	安井 譲 (早稲田大学 理工研)
A-2-6	地震直後の危険な建物を空撮動画から早期検出する手法の開発	◎ 水川 裕貴 (埼玉大学 理工学研究科環境システム工学系専攻 地震防災研究グループ 齊藤正人研究室)
A-2-7	現地写真を用いた畳み込みニューラルネットワークによる地震時の建物被災度評価	◎ 戸澤 謙弥 (国立大学法人 千葉大学)
A-2-8	空撮画像を用いた建物被害の抽出と共有手法の構築	◎ 谷口 幸弥 (東京大学)

A-3 12月2日(水) 15:40~17:40 座長：中村 尚弘 Chair : Naohiro NAKAMURA

建物応答・免震構造物 Building response - Base isolated structure

番号	題目	発表者
A-3-1	多層建築物内の上下の床に固定-ピン支持された軽量な曲げ棒の地震応答に関する一考察	石原 直 (国土交通省国土技術政策総合研究所 建築研究部)
A-3-2	最下層に柱脚を有する鋼構造梁降伏型剛接骨組の損傷集中率	柳田 佳伸 (青木あすなろ建設技術研究所)
A-3-3	梁主筋の付着除去を施した座屈拘束ブレース付きヒンジ位置保証型 RC 骨組の力学挙動	◎ 毎田 悠承 (東京工業大学環境・社会理工学院建築学系)
A-3-4	RC 造連層耐力壁の脚部に取り付けた鋼製ダンパーの力学挙動および座屈補剛に関する実験研究	◎ 毎田 悠承 (東京工業大学環境・社会理工学院建築学系)
A-3-5	津波漂流船舶衝突時の RC 造柱の安全性検討手法に関する実験的研究	◎ 島崎 喬子 (東京大学大学院)
A-3-6	免震建築物の擁壁への地震時衝突に関する解析的検討	◎ 中馬 拓美 (千葉工業大学)
A-3-7	地震動の入力方向が免震改修した不整形な建築物の地震応答に与える影響	◎ 増田 卓実 (千葉工業大学)
A-3-8	長周期地震動を受ける Hybrid 制震構造物の応答低減効果と有効性について	中川 肇 (独立行政法人国立高等専門学校機構 明石工業高等専門学校建築学科)

A-4 12月3日(木) 10:00~12:00 座長：毎田 悠承 Chair : Yusuke MAIDA

建物応答・耐震性能 Building response - Seismic performance

番号	題目	発表者
A-4-1	くど造り住宅の現地調査と耐震性能評価	◎ 南部 恭広 (九州大学大学院 人間環境学研究院都市建築学部門)
A-4-2	カトマズ盆地における歴史的構法による煉瓦造住宅建物の常時微動計測に基づく振動性状評価	向井 洋一 (神戸大学 大学院工学研究科建築学専攻)
A-4-3	京町家の地震荷重評価に関する研究	林 康裕 (京都大学 大学院工学研究科)
A-4-4	近年の観測地震動に対する高耐力木造住宅の応答	山田 耕司 (豊田高専)
A-4-5	四国地方における RC 造・SRC 造事務所建物の被害推定手法に関する研究	◎ 高草 眞奈美 (香川大学工学部安全システム建設工学科)
A-4-6	プレート境界地震の予測地震動に対する建物応答	◎ 杉野 未奈 (京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻 建築保全再生学講座)
A-4-7	1978 年宮城県沖地震で観測された東北大学の強震記録の再数値化	鹿嶋 俊英 (国立研究開発法人建築研究所)

A-5 12月3日(木) 13:00~15:00 座長：小野 祐輔 Chair : Yusuke ONO

土木構造物/地盤と構造物の相互作用 Civil structures/Soil-structure interaction

番号	題目	発表者
A-5-1	簡易組立式仮設橋梁の耐震性に関する検討	清宮 理 (株)ジッコス)
A-5-2	地震応答解析の解析能力向上のための高性能計算アプローチの提案	◎ 藤田 航平 (東京大学 地震研究所)
A-5-3	土粒子構造を考慮した液状化強度比推定手法の建設事業における検討事例	山田 岳峰 (鹿島建設株式会社技術研究所)
A-5-4	デジカメで取得した画像を用いた VisualSfM による部材の3次元化の試行	本多 弘明 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 (NILIM))
A-5-5	部分空間法に基づく同定による 杭基礎 建物の地震時挙動 に関する一検討	中川 博人 (建築研究所 国際地震工学センター)
A-5-6	鉄筋コンクリート造部分試験体とアクティブマスダンパーを用いた制振構造のリアルタイム・ハイブリッドシミュレーション実験	◎ 太田 雅也 (神戸大学大学院工学研究科)
A-5-7	ロッキング振動の連成系解析における減衰定数について	犬飼 瑞郎 (国土技術政策総合研究所)

B-1 12月2日(水) 10:30~12:00 座長：関口 徹 Chair : Toru SEKIGUCHI

地下構造 Underground profile

番号	題目	発表者
B-1-1	微動アレイ探査に関する国際標準化の取り組み	先名 重樹 (国立開発研究法人防災科学技術研究所 防災システム研究センター)
B-1-2	地震波エンベロープ全体の即時予測：「揺れの数値予報」への前方散乱モデルの導入	小木曾 仁 (気象研究所 地震津波研究部)
B-1-3	邑知瀧平野北東部における地盤構造調査のための常時微動観測	◎ 中山 智貴 (京都大学大学院工学研究科建築学専攻)
B-1-4	インドネシア西スマトラ州 Tandikat の地震地すべり地域における微動観測による地盤構造推定	◎ 西村 武 (鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻)

B-2 12月2日(水) 13:30～15:30 座長：引間 和人 Chair : Kazuhito HIKIMA

震源特性/強震動特性 Source mechanism/Strong motion characteristics

番号	題目	発表者
B-2-1	強震動予測レシピによる 2016 年熊本地震 (MJ7.3) の強震動シミュレーション	岩城 麻子 (防災科学技術研究所)
B-2-2	関東平野の地震動シミュレーションのための 2011 年富士山付近の地震 Mj6.4 の点震源モデル	笠松 健太郎 (鹿島建設株式会社 技術研究所 都市防災・風環境グループ)
B-2-3	房総沖プレート三重会合点付近で発生する地震による地震動について	植竹 富一 (東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 技術開発部 環境・エネルギーエリア)
B-2-4	応力降下量の空間不均質性を考慮した動的破壊シミュレーションー滑り量と滑り速度の空間変動特性ー	川瀬 博 (京都大学 防災研究 社会防災研究部門)
B-2-5	海外内陸地震のインバージョン結果データベースを用いたスケーリング則の検討	◎ 長嶋 史明 (京都大学防災研究所)
B-2-6	基盤地震動を用いたバックプロジェクション手法による短周期生成域の同定	◎ 伊藤 恵理 (京都大学防災研究所)

B-3 12月2日(水) 15:40～17:40 座長：長嶋 史明 Chair : Fumiaki NAGASHIMA

地盤変状 Ground deformation

番号	題目	発表者
B-3-1	地震による盛土造成地の被害に経年変化が与える影響の考察	安田 進 (東京電機大学)
B-3-2	地盤の 3 次元加速度記録のみを用いた深層学習による液状化の程度評価	加村 晃良 (東北大学 大学院工学研究科 土木工学)
B-3-3	護岸背後地盤の側方流動を対象とした動的解析における地盤の剛性回復モデルの違いが地盤変位量に与える影響に関する検討	◎ 加藤 一紀 ((株)大林組 技術研究所 構造技術研究部)
B-3-4	千葉市美浜区における液状化被害と各種地盤調査結果の比較	◎ 河井 亮太 (千葉大学大学院)
B-3-5	複数本の砂杭打設における水平応力の計測	原田 健二 (不動テトラ)
B-3-6	GPU による大規模 3 次元地震応答解析の高速化ー液状化解析を例にー	◎ 日下部 亮太 (東京大学地震研究所)

B-4 12月3日(木) 10:00~12:00 座長：岩城 麻子 Chair : Asako IWAKI

地盤震動(1) Ground motion (1)

番号	題目	発表者
B-4-1	差分法を用いた中央構造線断層(和泉山脈南縁)の強震動予測	野口 周輔 (大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻)
B-4-2	2013年栃木県北部の地震の震源域における伝播・サイト特性に関する検討	引間 和人 (東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所 技術開発部 環境・エネルギーエリア)
B-4-3	東京低地における大正関東地震による建物被害と表層地盤構造の関係	◎ 倉田 悠暉 (千葉大学大学院)
B-4-4	大阪湾沿岸部の深部地盤の変化が地震動の後続波に与える影響	佐藤 拓也 (東京理科大学 理工学部 建築学科 永野研究室)
B-4-5	機械学習を用いた地震動スペクトル評価に関する検討	◎ 松岡 恭平 (東北大学 災害科学国際研究所 災害リスク研究部門・地域地震災害研究分野)
B-4-6	表層地盤の等価線形解析にランダム振動論を適用する際のパラメータ等による影響	◎ 桐山 拓斗 (千葉大学大学院)
B-4-7	断層ごく近傍まで適用するための統計的グリーン関数の基礎的な検討	藤堂 正喜 (大崎総合研究所)

B-5 12月3日(木) 13:00~15:00 座長：津野 靖士 Chair : Seiji Tsuno

地盤震動(2) Ground motion (2)

番号	題目	発表者
B-5-1	地盤-橋全体系の強震モニタリングシステムの構築へ向けた技術検証	◎ 石井 洋輔 (国土技術政策総合研究所道路地震防災研究室)
B-5-2	強震動ブラインド予測の熊本テストサイト周辺での臨時強震観測	山中 浩明 (東京工業大学 環境・社会理工学院)
B-5-3	初期破壊のP波を用いたPLUM法：揺れから揺れの予測に基づく地震動即時予測の迅速化に向けて	◎ 小寺 祐貴 (気象庁気象研究 地震津波研究部 第三研究室)
B-5-4	熊本市万日山近傍でのボアホール地震観測およびPS検層	是永 将宏 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
B-5-5	1倍強震計による東京・本郷での1923年関東地震の地震記象	翠川 三郎 (東京工業大学)
B-5-6	海底津波計で観測されるドリフトの予測に関する研究	松本 浩幸 (国立研究開発法人海洋研究開発機構)

C-1 12月2日(水) 10:30～12:00 座長：沼田 宗純 Chair : Muneyoshi NUMADA

地震被害調査・被害推定 Earthquake damage investigation, damage estimation

番号	題目	発表者
C-1-1	地域住民による地震時閉じ込め者の救出・救助における諸問題について	小山 真紀 (岐阜大学 流域圏科学研究センター)
C-1-2	2018年北海道胆振東部地震における住宅再建状況調査－安平町, 厚真町, むかわ町を対象として－	◎ 岩崎 祥太郎 (北海道大学)
C-1-3	南海トラフ地震からの道路復旧優先順位決定に関する課題の考察－産業物流実態調査に基づく復旧ジレンマの空間的可視化－	倉田 和己 (名古屋大学減災連携研究センター)
C-1-4	前後方向の非対称性を考慮した人体の地震応答解析モデルに基づく人間の地震時転倒評価	肥田 剛典 (東京大学 大学院工学系研究科建築学専攻)

C-2 12月2日(水) 13:30～15:30 座長：倉田 和己 Chair : Kazumi KURATA

防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題(1) Disaster mitigation plan/risk management/socio-economic issues (1)

番号	題目	発表者
C-2-1	南海トラフで発生する可能性のある多様な地震・津波に備えるための災害シナリオの試作	中村 洋光 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門)
C-2-2	東日本大震災前後の漁業地区の変化に関する基礎的分析	◎ 山本 奏音 (東京大学大学院)
C-2-3	経済復旧を目的とした道路復旧優先順位決定支援シミュレーションの試行	山崎 雅人 (名古屋大学)
C-2-4	2019年山形県沖地震における鶴岡市投入量調査による災害対応業務の分析	沼田 宗純 (東京大学)
C-2-5	被災者の存在位置・ニーズ把握ツールの自動検出に向けた基礎的検討－金沢市における設置実験を通して－	◎ 森崎 裕磨 (金沢大学大学院自然科学研究科環境デザイン学専攻)
C-2-6	車載カメラ画像を活用した災害発生直後の建物ガレキ量と災害ボランティア作業量の簡易的推定手法の検討	水井 良暢 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 防災情報研究部門)

C-3 12月2日(水) 15:40～17:40 座長：中村 洋光 Chair : Hiromitsu NAKAMURA
 防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題(2) Disaster mitigation plan/risk management/socio-economic issues (2)

番号	題目	発表者
C-3-1	空港の被災時を想定した航空機のダイバート候補空港の選定に関する基礎的分析	◎ 藤井 涼 (金沢大学大学院自然科学研究科環境デザイン学専攻)
C-3-2	災害対応工程管理システム BOSS とマニュアルによる 新型コロナウイルス流行下での避難所運営を事例とした対応行動の比較	◎ 安井 あり紗 (東京大学)
C-3-3	モード分解と経験コピュラを用いたシナリオ地震動予測地図のサンプル生成	今井 隆太 (みずほ情報総研株式会社)
C-3-4	水災害における要援護者のための論理的避難意思決定モデル	◎ 筋野 哲央 (Bergische Universität Wuppertal)
C-3-5	再生可能エネルギーの地域偏在性に基づいた全国市町村の類型化	◎ 永作 俊 (東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻)

C-4 12月3日(木) 10:00～12:00 座長：藤田 航平 Chair : Kohei FUJITA
 English session (1) Ground deformation/Subsurface structure model

番号	題目	発表者
C-4-1	Investigation of Liquefaction-induced Subsidence and Sand Boiling in 1-G Shaking Table Model Tests	◎ Amani GUIZANI (Civil engineering department- The University of Tokyo)
C-4-2	EFFECT OF UNDRAINED CYCLIC STRAIN HISTORY ON POST-CYCLIC STRENGTH CHARACTERISTICS OF SAND IN TORSIONAL SHEAR TESTS	◎ Nazish Ullah (University of Tokyo)
C-4-3	MICROTREMOR SURVEY AND HVSR ANALYSIS IN BANGKOK THAILAND	◎ Bidhya SUBEDI (Kyoto University)
C-4-4	ANN BASED ESTIMATION OF SITE EFFECTS FROM SEISMIC CODA WAVES	◎ Mona Izadi (Kyoto University Graduate School of Engineering Department of Architecture and Architectural Engineering Structural Dynamics Laboratory)
C-4-5	SOME FEATURES OF STRONG-MOTIONS RECORDED BY S-NET	Yadab P. DHAKAL (National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience (NIED))

C-5 12月3日(木) 13:00~15:00 座長：小檜山 雅之 Chair : Masayuki KOHIYAMA

English session (2) Base isolation/structural control/health monitoring

番号	題目	発表者
C-5-1	ENERGY BASED DESIGN METHOD FOR ISOLATED BUILDING CONSIDERING STIFFNESS DISTRIBUTION OF SUPERSTRUCTURE	◎ CHEN ZHENGLI (東京工業大学環境社会学院)
C-5-2	LOW TEMPERATURE HYBRID SIMULATION FOR HIGH DAMPING RUBBER BEARINGS	TAN Yuqing (Kyoto University)
C-5-3	Development of novel self-centering seismic base isolators incorporating SMAs for earthquake resilience	◎ Bin WANG (Dept. of Architecture and Architectural Engineering, Kyoto University)
C-5-4	ACCURACY OF PREDICTION FORMULA FOR DAMAGE CAUSING ENERGY BY HYSTERETIC DAMPER	Jing LI (Tokyo Institute of Technology)
C-5-5	Deep Learning Predictions of Seismic Capacity Curves of Buildings	◎ Ahmed A. TORKY (Graduate School of Engineering, Tohoku University)